

IV 調査結果

(団体アンケート調査)

1 団体の属性

〔結果（概要）〕

◇運営人数は「4～9人」が47.5%と最も多い。

◇活動人数は「21人以上」が28.3%と最も多く、「11～20人」が27.5%、6～10人が25.8%と続く。

◇参加者の年齢層は、「女性60～79歳」が62.5%と最も多く、「女性40～59歳」が32.5%、「男性60～79歳」が30.0%、「女性80歳以上」が23.3%と続く。

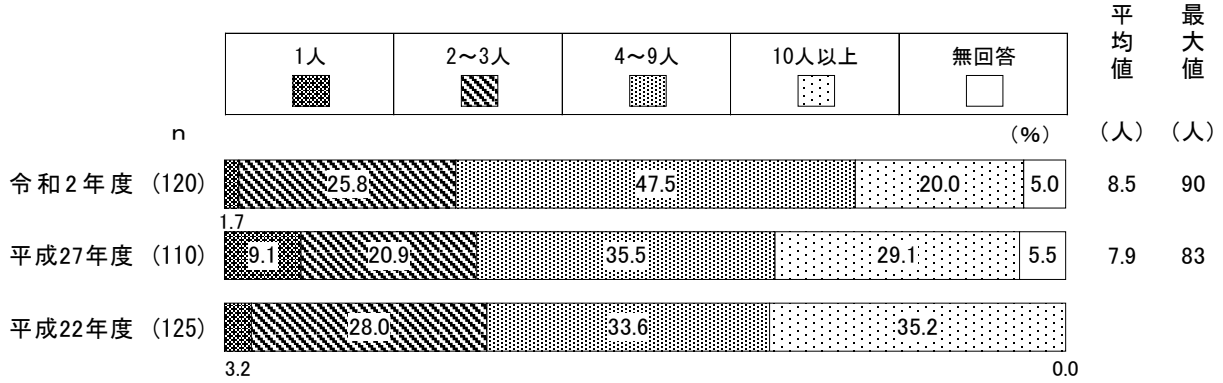
過去と比較しても、参加者層の割合に大きな変化は見られない。高齢者の割合が高く、若年層に向けたアプローチがこれまで不十分であったことが分かる。

(1) 運営人数

◇ 「4～9人」が47.5%

問1 貴団体の運営に関わっている方（運営スタッフ）の人数をお答えください。

（令和2年4月1日現在）



※平成22年度の平均値、最大値は不明

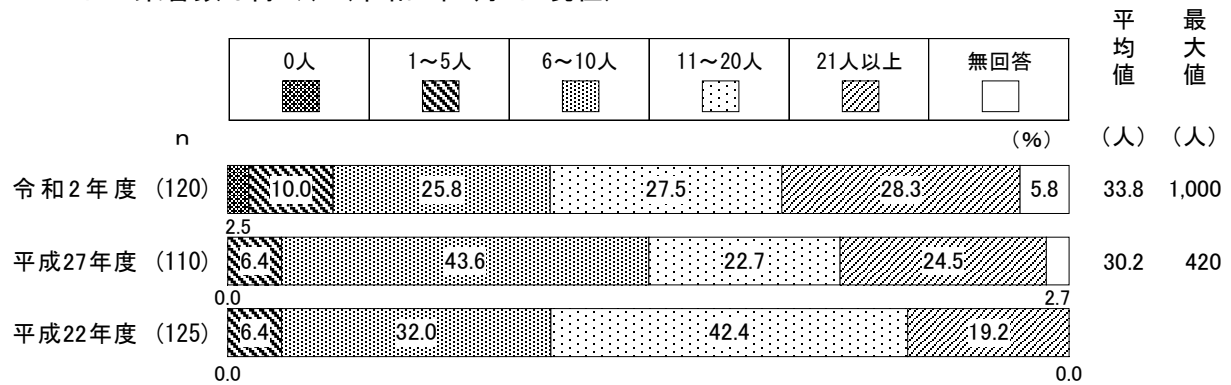
運営人数は、「4～9人」が47.5%で最も高く、次いで「2～3人」(25.8%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「4～9人」は平成22年度以降増加傾向にあり、平成27年度より12.0ポイント増加している。一方、「10人以上」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より9.1ポイント減少している。

(2) 活動人数

◇ 「21人以上」が28.3%

問2 貴団体の活動に参加している方の概ねの人数をお答えください。（運営スタッフ、イベントの集客数は除く）（令和2年4月1日現在）



※平成22年度の平均値、最大値は不明

活動人数は、「21人以上」が28.3%で最も高く、次いで「11～20人」(27.5%)と続いている。

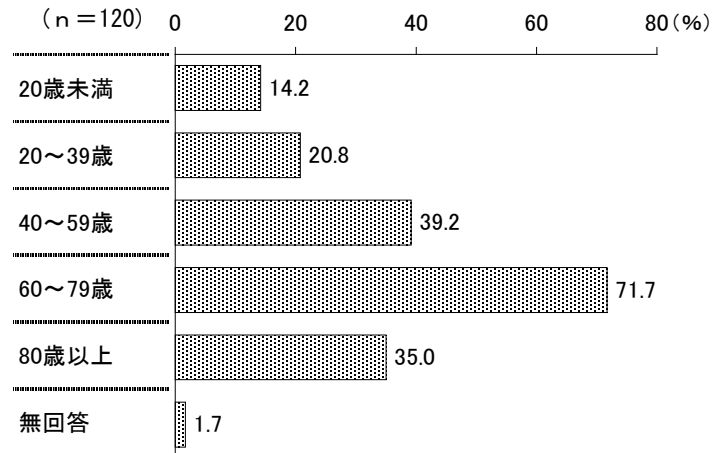
過去の調査結果と比較すると、「11～20人」は平成27年度より4.8ポイント増加している。一方、「6～10人」は平成27年度より17.8ポイント減少している。

(3) 活動参加者の年齢層

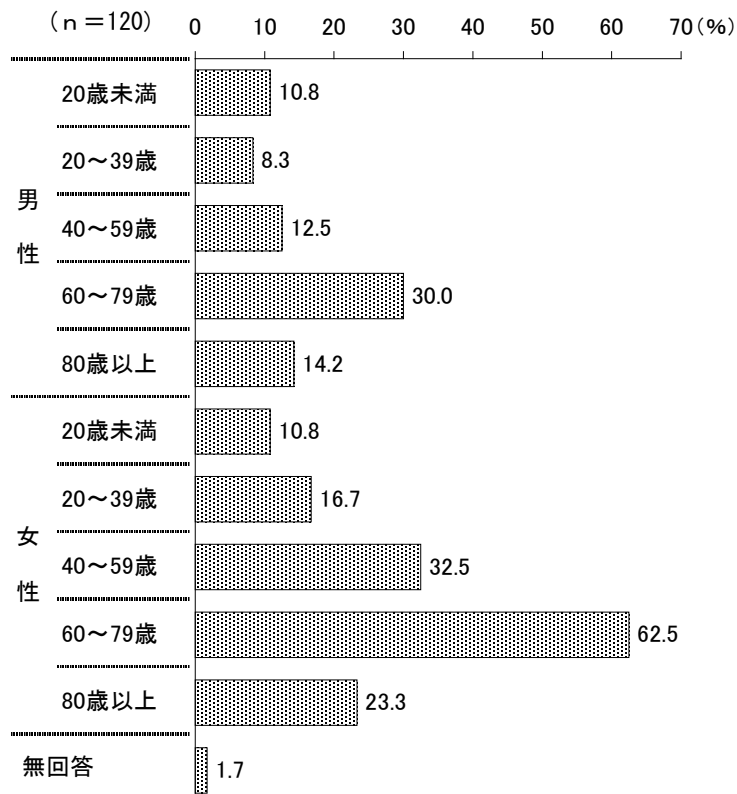
◇ 「女性 60～79 歳」が 62.5%

問3 貴団体の主な参加者層についてお答えください。(3つ以内に○印)

【年齢層】



【性・年齢別】



活動参加者の年齢層は、「60～79歳」が71.7%で最も高く、次いで「40～59歳」(39.2%)、「80歳以上」(35.0%)、「20～39歳」(20.8%)と続いている。

性・年齢別でみると、「女性60～79歳」が62.5%で最も高く、次いで「女性40～59歳」(32.5%)、「男性60～79歳」(30.0%)、「女性80歳以上」(23.3%)と続いている。

2 団体の活動の実態

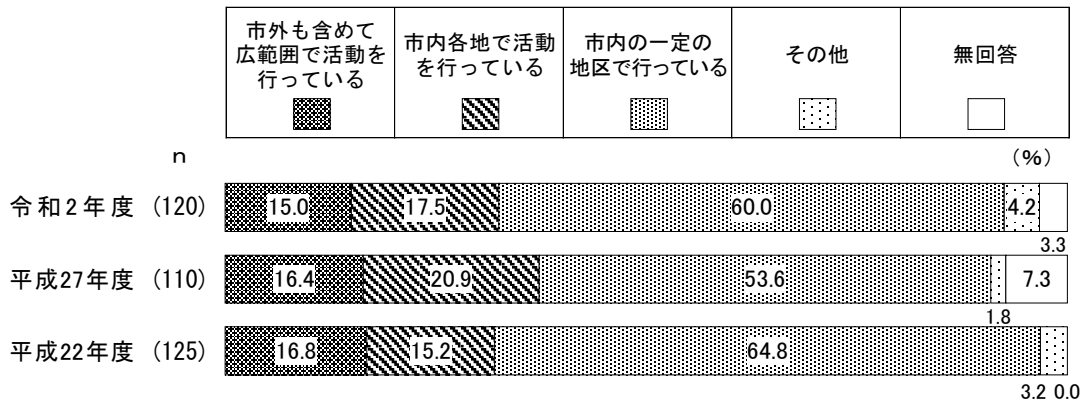
〔結果と課題（概要）〕

- ◇団体の活動としては、「趣味」が主流。市民で目立って多い「体力づくり・スポーツ」は、団体の活動としては低い。
- ◇市内の一定の地区に限定し活動を行っている団体が多く、特に大字新曾、新曾南、氷川町、大字下笹目を活動場所の中心としている団体が多い。
- ◇今後の活動展開として、活動範囲を広げたいと考えている団体は19.2%と多くはない。
- ◇市役所と連携して活動を行っている団体は39.2%であり、連携の内容としては、広報やホームページでの活動紹介、市役所の施設の利用、活動費の助成などによるものが多い。
- ◇主な活動場所として「公民館（福祉センター）の割合は減少傾向にあり、一方「上戸田地域交流センター（あいパル）の割合は増加している。上戸田地域交流センターは、新築であり、利用しやすくなったことも含め、具体的な要因を分析する必要がある。
- ◇活動内容としては、趣味に関することや日常の暮らしに役立つものが多く、舞踏・ダンス、健康管理が上位を占める。

(1) 活動範囲

◇「市内の一定の地区で行っている」が60.0%

問4 貴団体の活動範囲についてお答えください。（1つだけに○印）



活動範囲を聞いたところ、「市内の一定の地区で行っている」が60.0%で最も高く、次いで「市内各地で活動を行っている」(17.5%)、「市外も含めて広範囲で活動を行っている」(15.0%)と続いている。

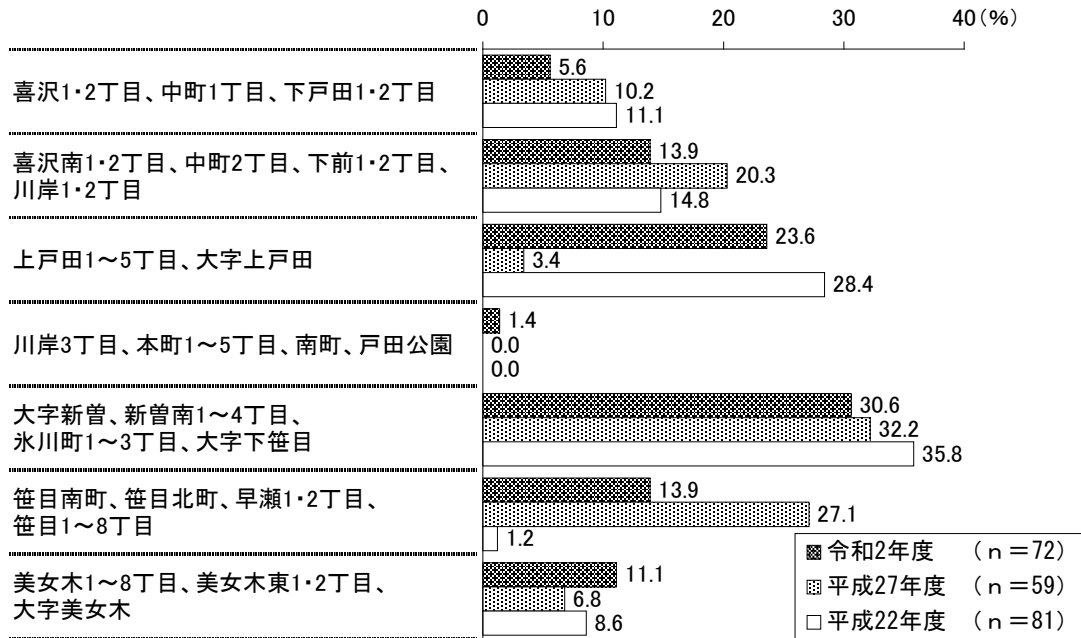
過去の調査結果と比較すると、「市内の一定の地区で行っている」は平成27年度より6.4ポイント増加している。

(2) 一定の地区での活動場所

◇「大字新曾、新曾南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目」が30.6%

【問4で、「市内の一定の地区で行っている」と答えた方にお聞きします】

問4-1 活動場所はどの地区ですか。（1つだけに○印）



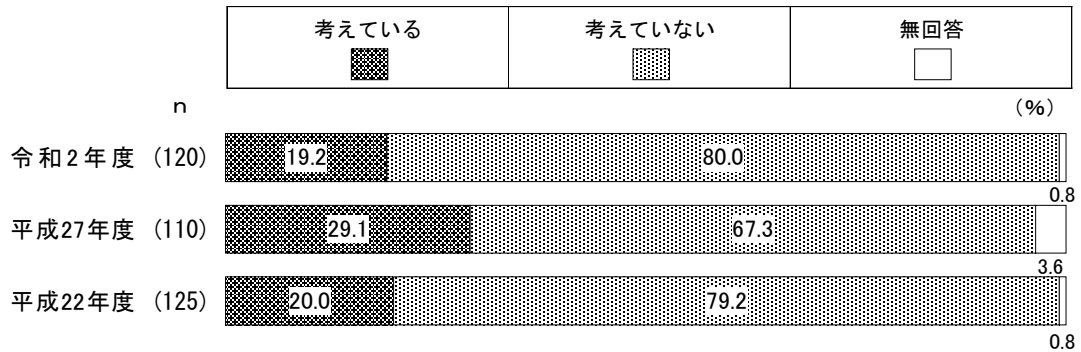
「市内の一定の地区で行っている」と答えた方に、具体的な地区を聞いたところ、「大字新曾、新曾南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目」が30.6%で最も高く、次いで「上戸田1～5丁目、大字上戸田」(23.6%)、「喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目」と「笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目」(ともに13.9%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「上戸田1～5丁目、大字上戸田」は平成27年度より20.2ポイント増加している。一方、「笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目」は平成27年度より13.2ポイント減少している。

(3) 今後の活動展開

◇「考えている」が19.2%

問5 今後、活動の範囲を広げたいと考えていますか。（1つだけに○印）



今後の活動展開を聞いたところ、「考えている」が19.2%、「考えていない」は80.0%となっている。

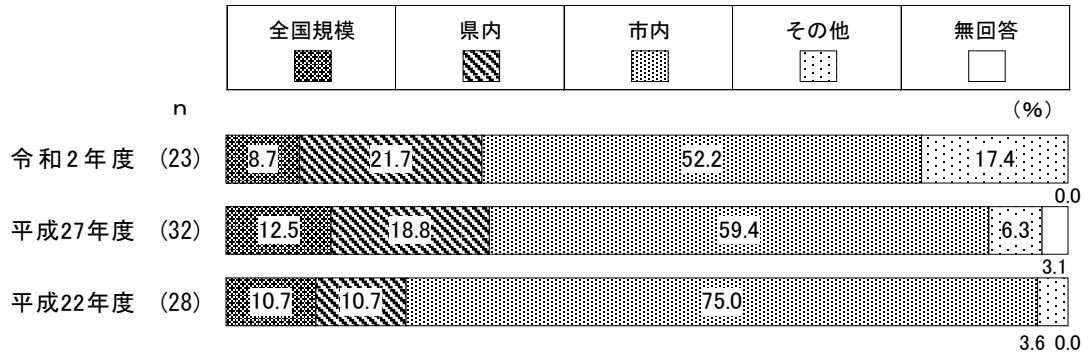
過去の調査結果と比較すると、「考えていない」は平成27年度より12.7ポイント増加している。

(4) 広げたい活動範囲

◇「市内」が52.2%

【問5で、「考えている」と答えた方にお聞きします】

問5-1 どの程度の活動範囲にしようと考えていますか。(1つだけに○印)



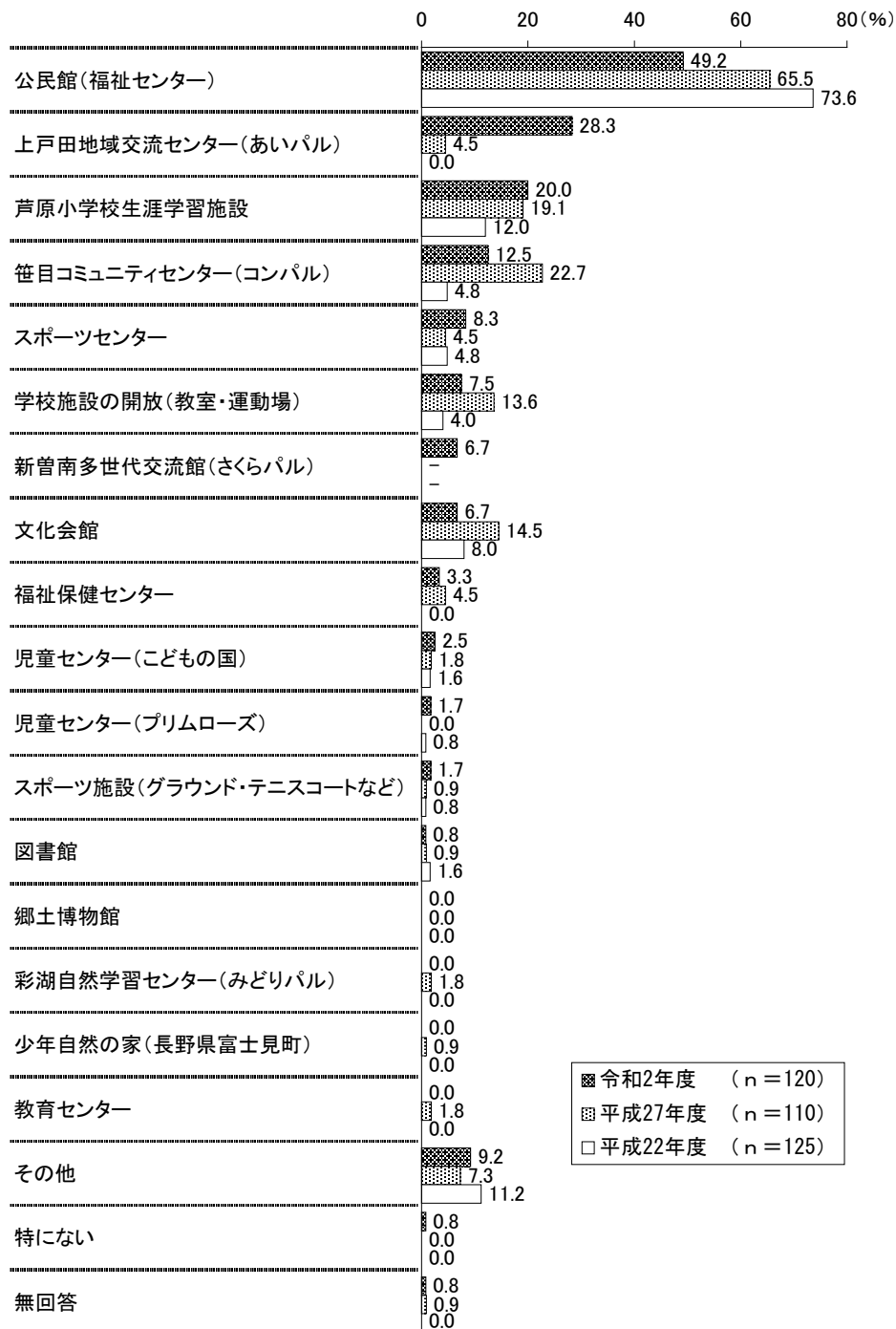
「活動の範囲を広げたいと考えている」と答えた方に、広げたい活動範囲を聞いたところ、「市内」が52.2%で最も高く、次いで「県内」(21.7%)、「全国規模」(8.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「市内」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より7.2ポイント減少している。

(5) 主な活動場所

◇「公民館（福祉センター）」が49.2%

問6 貴団体の主な活動場所（施設）をお答えください。（いくつでも○印）



※「新曾南多世代交流館（さくらパル）」は令和2年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

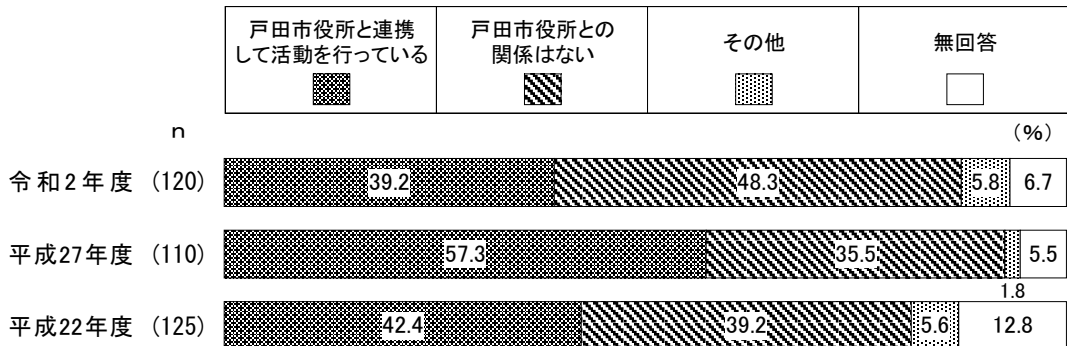
主な活動場所を聞いたところ、「公民館（福祉センター）」が49.2%で最も高く、次いで「上戸田地域交流センター（あいパル）」（28.3%）、「芦原小学校生涯学習施設」（20.0%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度より23.8ポイント増加している。

(6) 戸田市役所との連携状況

◇「戸田市役所と連携して活動を行っている」が39.2%

問7 貴団体の活動について戸田市役所との関係をお答えください。(1つだけに○印)



※「戸田市役所と連携して活動を行っている」は平成27年度では「基本的に戸田市役所と連携して活動を行っている」と「活動の中で戸田市役所と連携することもある」に分かれていた

戸田市役所との連携状況を聞いたところ、「戸田市役所と連携して活動を行っている」が39.2%、「戸田市役所との関係はない」は48.3%となっている。

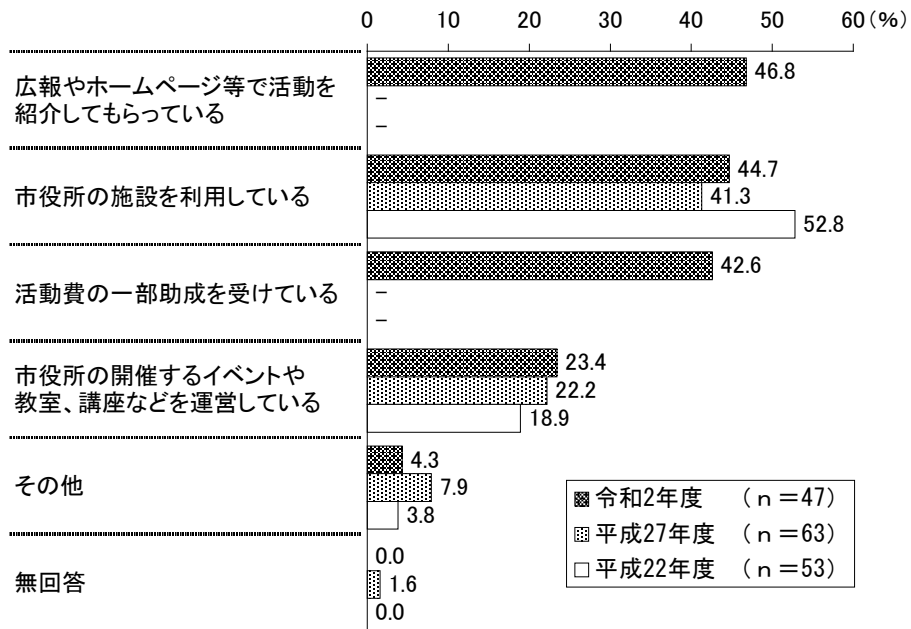
過去の調査結果との比較は選択肢が異なるため、参考に図示する。

(7) 戸田市役所との連携の内容

◇「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」が46.8%

【問7で、「戸田市役所と連携して活動を行っている」と答えた方にお聞きします】

問7-1 具体的に戸田市役所とどのような連携をとっていますか。（いくつでも○印）



※「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」、「活動費の一部助成を受けている」は令和2年度から追加された選択肢

「戸田市役所と連携して活動を行っている」と答えた方に、戸田市役所との連携の内容を聞いたところ、「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」が46.8%で最も高く、次いで「市役所の施設を利用している」(44.7%)、「活動費の一部助成を受けている」(42.6%)、「市役所の開催するイベントや教室、講座などを運営している」(23.4%)と続いている。

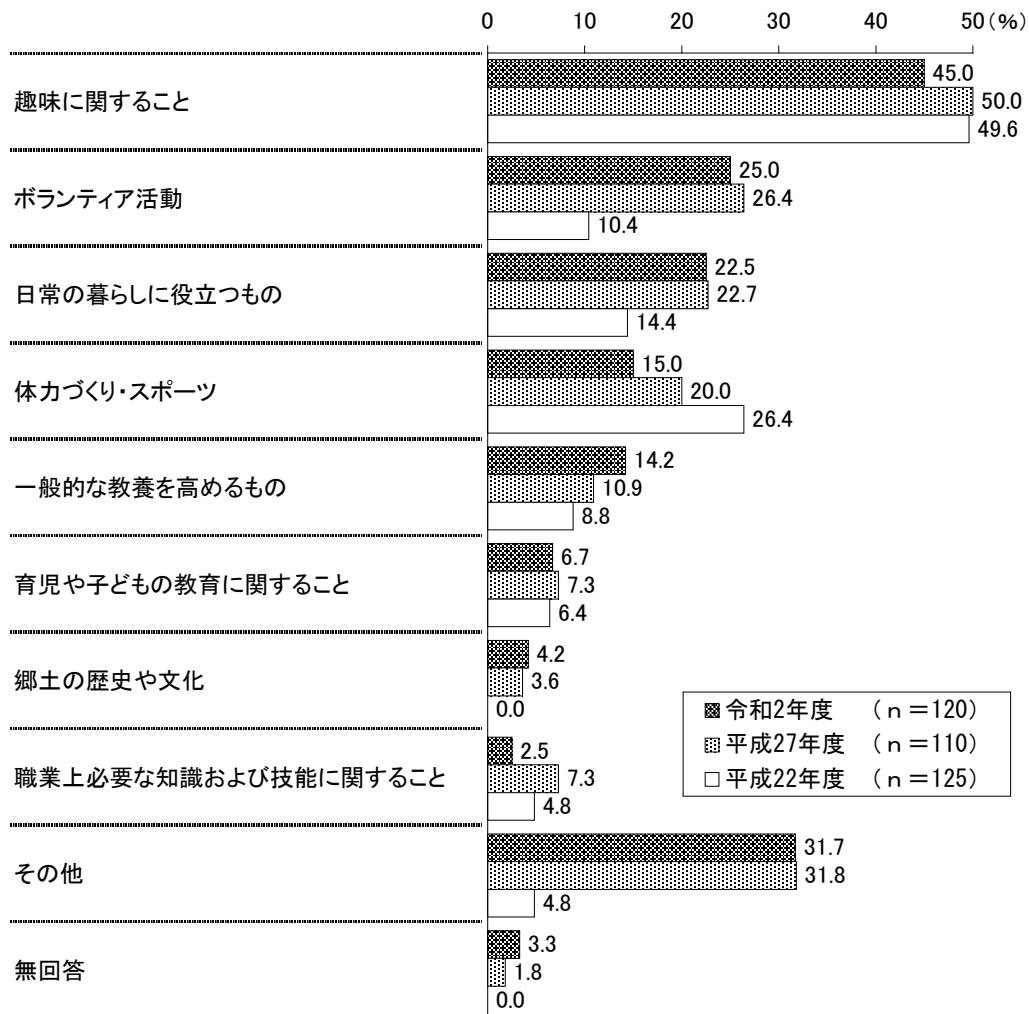
過去の調査結果との比較は選択肢が大幅に変更されているため、参考に図示する。

(8) 活動の内容

◇「趣味に関すること」が45.0%

問8 貴団体で行っている活動の内容をお答えください。

(1) 以下の（1～62）の中から、あてはまるものいくつかでも○印をつけてください。



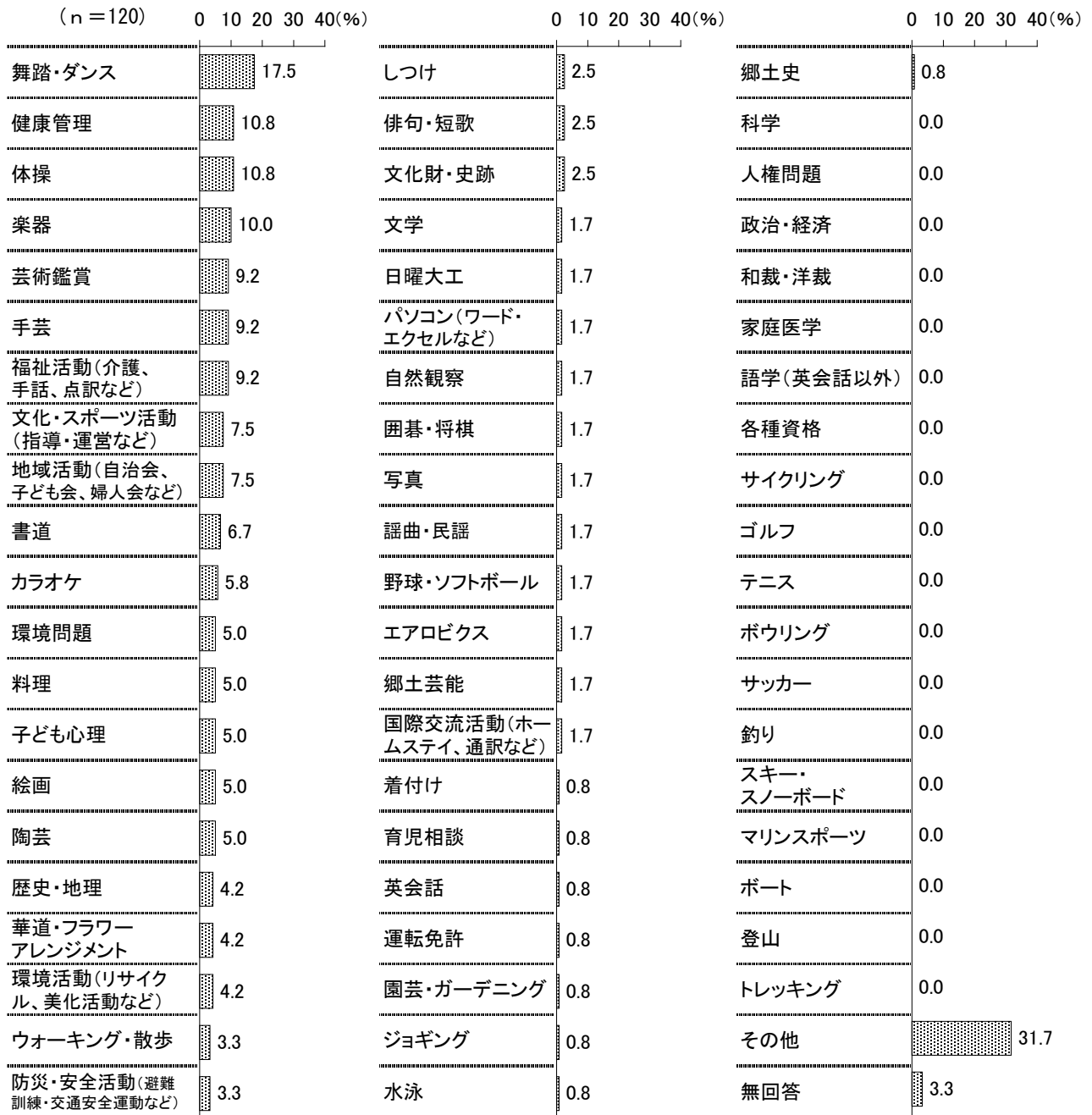
※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

活動の内容を聞いたところ、「趣味に関すること」が45.0%で最も高く、次いで「ボランティア活動」(25.0%)、「日常の暮らしに役立つもの」(22.5%)、「体力づくり・スポーツ」(15.0%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「趣味に関すること」は平成27年度より5.0ポイント、「体力づくり・スポーツ」は平成27年度より5.0ポイント、それぞれ減少している。

「IV 調査結果（団体） 2. 団体の活動の実態」

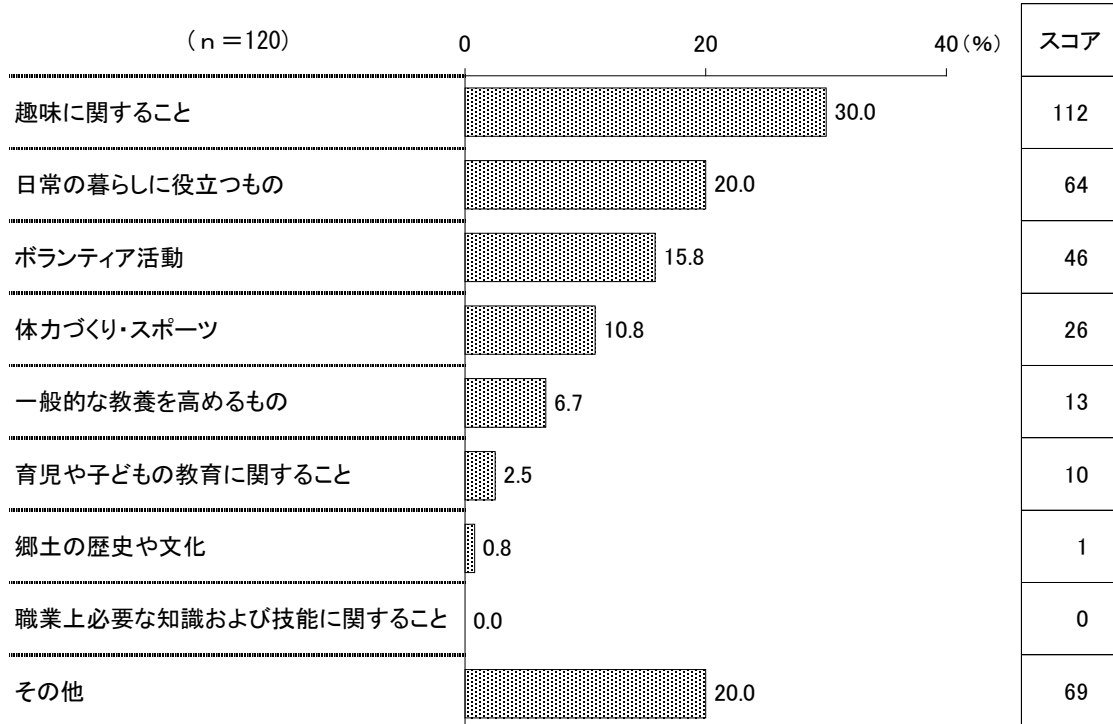
具体的な活動内容をみると、「舞踏・ダンス」が17.5%で最も高く、次いで「健康管理」と「体操」（ともに10.8%）、「楽器」（10.0%）と続いている。



(9) 特に力を入れている活動

◇「趣味に関すること」が30.0%、スコアでも112点でトップ

問8 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れて行っているものについて、順に3つまで、番号でお答えください



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れて行っている活動の順位付け回答について、1位から3位の累計では「趣味に関すること」が30.0%で最も高く、次いで「日常の暮らしに役立つもの」(20.0%)、「ボランティア活動」(15.8%)、「体力づくり・スポーツ」(10.8%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアでみると、「趣味に関すること」が112点で最も高く、次いで「日常の暮らしに役立つもの」(64点)、「ボランティア活動」(46点)、「体力づくり・スポーツ」(26点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

具体的な「学習活動」のスコアをみると、「舞踏・ダンス」が41点で最も高く、次いで「健康管理」（27点）、「手芸」（22点）、「体操」（18点）と続いている。

順位	分野	具体的な学習活動	スコア
第1位	趣味	舞踏・ダンス	41
第2位	暮らし	健康管理	27
第3位	暮らし	手芸	22
第4位	スポーツ	体操	18
第5位	趣味	楽器	17
第6位	ボランティア	文化・スポーツ活動（指導・運営など）	15
第7位	趣味	カラオケ	13
第8位	一般的教養	芸術鑑賞	12
	暮らし	料理	
	趣味	絵画	
	ボランティア	地域活動（自治会、子ども会、婦人会など）	

3 団体の活動を進めていく上での課題

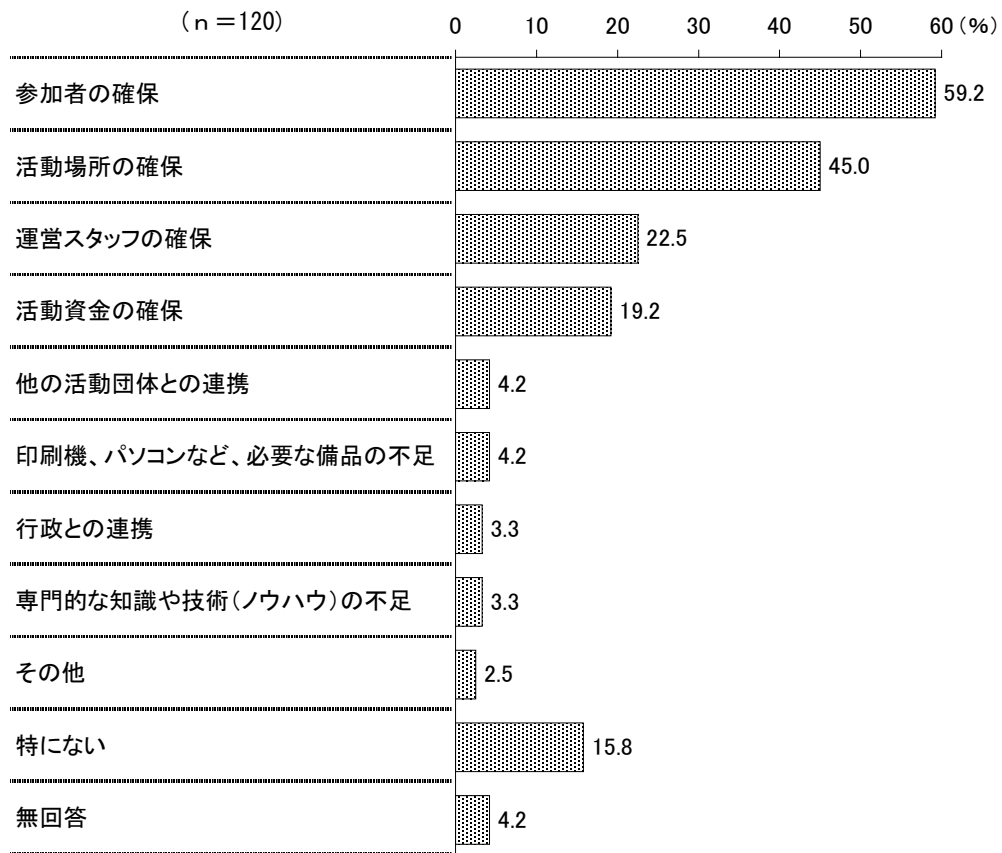
〔結果と課題（概要）〕

◇現在、活動を進めていく上での課題・今後活動を進めていく上での課題としては、参加者の確保、活動場所の確保が主である。今後活動を進めていく上での課題としての「運営スタッフの確保」は、過去の調査と比較すると回答割合は増加した。

(1) 現在の活動を進めていく上での課題

◇「参加者の確保」が59.2%

問9 現在、活動を進めていく上での課題は何ですか。（いくつでも○印）

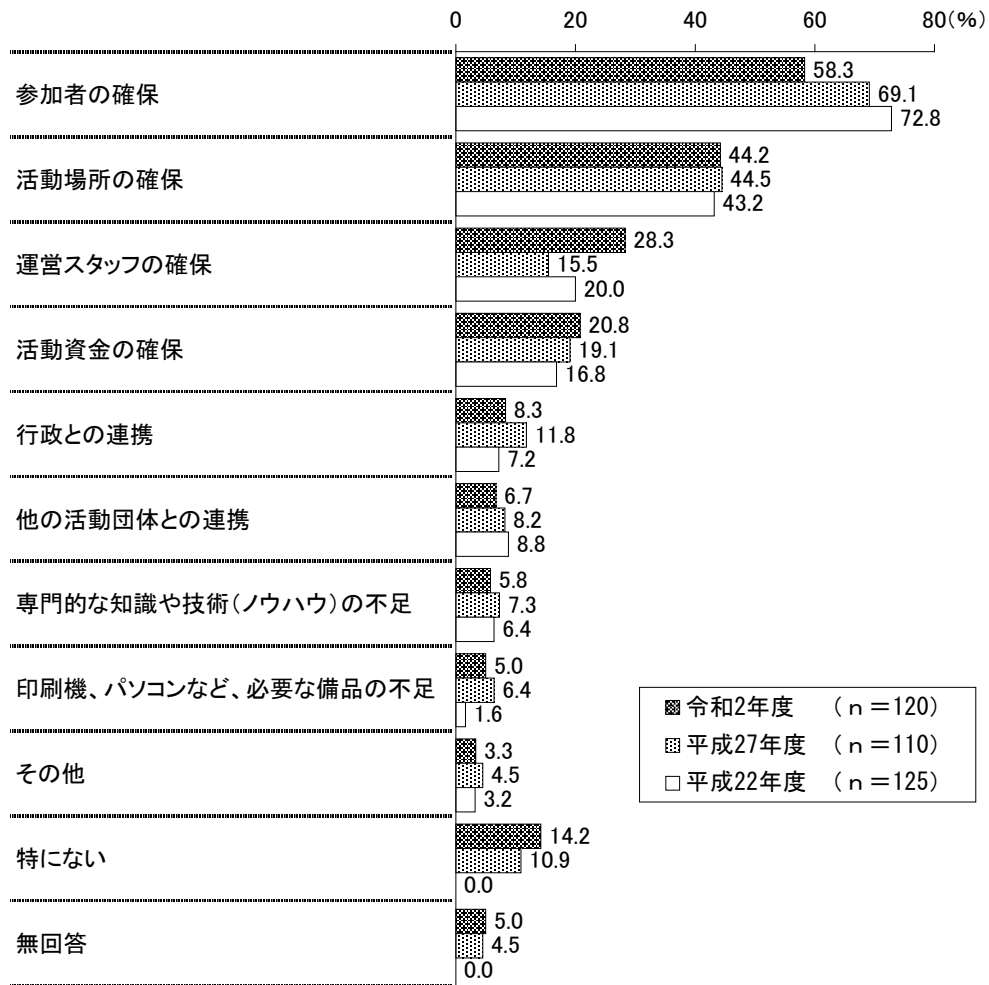


現在の活動を進めていく上での課題を聞いたところ、「参加者の確保」が59.2%で最も高く、次いで「活動場所の確保」(45.0%)、「運営スタッフの確保」(22.5%)、「活動資金の確保」(19.2%)と続いている。

(2) 今後の活動を進めていく上での課題

◇「参加者の確保」が58.3%

問10 今後、活動を進めていく上での課題は何ですか。（いくつでも○印）



※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

今後の活動を進めていく上での課題を聞いたところ、「参加者の確保」が58.3%で最も高く、次いで「活動場所の確保」(44.2%)、「運営スタッフの確保」(28.3%)、「活動資金の確保」(20.8%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「運営スタッフの確保」は平成27年度より12.8ポイント増加している。一方、「参加者の確保」は平成27年度より10.8ポイント減少している。

4 市の生涯学習環境づくりに向けての意見

〔結果と課題（概要）〕

◇活動を進めていく上で行政に求めること

「活動場所の提供」が最も多く、次に「活動案内や参加者募集等の広報についての支援」が続く。また、「活動についての相談」は過去の調査と比較すると増加している。

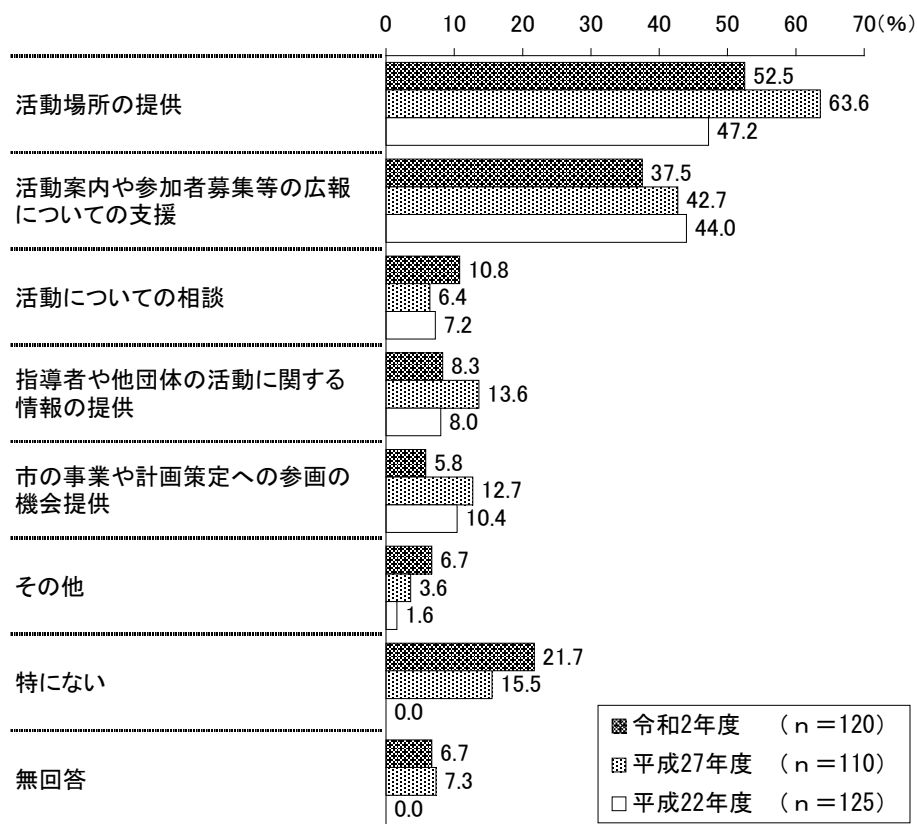
◇活動場所について、現状課題を抱えている団体が多いことがわかる。

また、参加者や運営スタッフの確保のためにも、広報・周知の面で行政の支援が求められている。

(1) 活動を進めていく上で行政に求めること

◇「活動場所の提供」が52.5%

問11 今後、活動を進めていく上で行政に求めることは何ですか。（いくつでも○印）



活動を進めていく上で行政に求めることを聞いたところ、「活動場所の提供」が52.5%で最も高く、次いで「活動案内や参加者募集等の広報についての支援」（37.5%）、「活動についての相談」（10.8%）、「指導者や他団体の活動に関する情報の提供」（8.3%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「活動についての相談」は平成27年度より4.4ポイント増加している。一方、「活動場所の提供」は平成27年度より11.1ポイント、「市の事業や計画策定への参画の機会提供」は平成27年度より6.9ポイント、それぞれ減少している。